

皆さん、公民館祭りお疲れ様でした。

2年連続でアンサンブル&アレンジの構成でしたがいかがでしたか？

小さな事故はありましたが、短い練習期間のわりには、いい演奏だったのではないのでしょうか？

ただ、皆さんの表情が・・・「何かつらい事でもあったの？」って感じで、

ちょっとうつむきかげんだったみたいですよ。本番は誰しも緊張しますが、表情は演奏にも影響しますし、お客様にも伝わりますから、もっともっと楽しそうに演奏できるように、心がけましょうね。

音楽は時間と共に流れる、時間芸術です。その瞬間を大切にしていきたいですね。

巻き戻してやり直す事は出来ませんが、振り返ることは大切だと思います。

録音をCDにしましたので、聴いてみて下さい。

次は7月31日(土)の公民館ファミリーコンサートです。

例年同様、八幡市民オーケストラとジョイントです。(合同演奏はありません)

しばらく時間がありますので、基礎からしっかり練習しましょう。

先月から発行の会報G.Pですが、なんとか今月も発行できました。

紙面を充実させる為にも、掲載する情報をお待ちしています。ドシドシお寄せ下さい。

ただし、掲載するかしないかは、紙面の都合もありますので、一任下さい。

【What's New】

全面更新しました。

本番予定

7月31日(土) 公民館ファミリーコンサート 14時～ 公民館にて

指揮：廣瀬 道代先生(大阪教育大学 音楽科卒 音楽教室主宰)

曲目：未定(5～6曲)

練習計画

通常練習は19時～21時です。場所はいつもと同じ、男山公民館2階です。

分奏は1階・2階に分れて練習します。

廣瀬先生のご都合で、先生の来団日は日曜日のみとなります。

5月以降の日曜日練習の日程にご注意下さい。

【7月31日(土)親子コンサートまでの予定】

3月 11日(木) 通常練習(初見大会)

18日(木) 通常練習(初見大会)

25日(木) 通常練習

4月 1日(木) 通常練習

8日(木) 分奏

15日(木) 通常練習

22日(木) 通常練習

5月以降は毎週木曜日(祝日は除く)

5月以降、廣瀬先生のご都合と、練習の進捗をみて、日曜日練習(第2週～第5週)を設定します。

公民館の予約方法の都合にて、日曜日の練習については、

一ヶ月前にならなければ確定できません。

運営から

夏のイベント用の楽団Tシャツをお持ちで無い方は、亀村さん(Tb)まで申し出て下さい。

実費負担にて作成して頂きます(¥1000くらい)

団費の支払いをお願いします。一ヶ月¥1000です。

団費袋に入れて亀村さん(Tb)まで納めてください。

仕事帰りの練習は大変だと思いますが、出来る限り参加してください。欠席の際は、パートリーダーに連絡を入れてください。無断欠席が続く場合は、本番出演を認めない場合があります。

現在、各パートメンバー募集中です。年齢・性別・国籍・経験年数不問です。

お知り合いの方をドンドン誘ってください。

日程変更や緊急の連絡は、HP(携帯対応)掲示板(団員用・パスワードは*****)に書き込みますので、チェック願います。

ワンポイント・アドバイス

演奏技術向上の一助になればと思い、経験豊富な方からのアドバイスを掲載します。一度試してみてください。

- ・呼吸は大きくゆったりと。息は遠くに送り出すように。
演奏する時の呼吸と、普段の呼吸は一緒ですよ。
- ・何事も準備不足は失敗の素。音を出す前にしっかり準備しましょう。
- ・自分が出したいと思う音色を意識して演奏しましょう。
- ・音の形を意識しましょう。たとえば、低音域は丸みのある音など。
- ・口の中は大きく深くとりましょう。
- ・タンギングは舌突きではありません。
木管ならリード、金管なら歯の裏から舌が離れる瞬間がタンギングです。
普通に話をするような感じでいいんですよ。
濁音発音でレガートタンギングから練習しましょう。
- ・楽譜を目で追うことに必死になりすぎて、自分の音を聴くことを忘れていませんか？
個人練習時に目を閉じて全神経を集中して自分の音を聴く時間をとってみましょう。
余計な力が抜けて、音程も良くなると思いますよ。
- ・毎週の個人練習時のように時間に余裕がない時は、ロングトーンのような基礎練習よりも、楽譜で指が回らない箇所や読めていない箇所をさらう事を優先しましょう。
- ・練習曲集や教則本で色々なパターンの練習をしましょう。
これらには、色々な指・ブレス・フレーズや調のパターンが書かれています。
マスターすればどんな楽譜だって「へいちゃらさ」って、はな歌まじりに演奏できますよ。
- ・チューナーで、ピッチを確認しましょう。楽器と自分の癖を把握することが大切ですよ。
- ・メトロノームを使って練習しましょう。テンポ感をやしなうことはとっても大切ですよ。
- ・合奏中に周りの奏者を良く見て、周りの音を良く聴きましょう。
- ・音楽には流れがあります。奏者一人ひとりがその流れを作っていることを忘れずに。

今回のアドバイスは、河毛さん、明石さん、野口からでした。

演奏会情報

- 京都府立すばる高校吹奏楽部 第21回定期演奏会 文化パーク城陽 無料
3月20日(土) 18時~
3月21日(日) 14時~ 18時~ (2回公演)
- 3月22日(月・祝) 13時30分~ 同志社香里吹奏楽団 第36回定期演奏会
守口市市民会館 さつきホール 入場無料
- 4月25日(日) 14時~ フルートアンサンブル メヌエット 第12回定期演奏会
アンサンブルホール ムラタ(京都コンサートホール) 有料
- 5月23日(日) 枚方フィル 定期演奏会(仮面舞踏会・グレートほか) 入場無料
- 6月13日(日) 八幡市民オーケストラ 定期演奏会(Vnコン・シベ2ほか) 有料
- 6月20日(日) 宇治シティーフィル 定期演奏会(Pコン・ラインほか) 有料

Profile

自己紹介を順次掲載します。

原稿未提出の方は、早急に野口まで提出願います。

澤田 正和

現在、計量器や医療機器、業務用コピー機や写真現像機をはじめとした、精密機器の部品メーカーに勤める。

そんな氏は計量器メーカーの計り知れない納期に、「ひいひい」言わされる日々を過ごしている。

酒と音楽をこよなく愛す師匠から、「酒は体の一部、音楽は生活の一部」と教えられるが、最近では忙しく師匠の教えを実践出来ない日々を送ることを悔やんでいる。

そんな日々を過ごす氏は、京都の緑寿庵清水の金平糖を「ぽりぽり」食べながら宇治田原町の壺之庄のほうじ茶をたしなみながら、昔話を始めた。

あれは高校入試のことだった。面接の質問で、「入学後、クラブ活動に参加するとすれば何部に？」という質問に、何も考えていなかった氏は、とっさに「楽器経験はないですが、吹奏楽部です。」と答えた。

すると、2人いるうちの1人の面接官が「では、入学後、入部を待ってますね」と言った。「何のことか？」と考えている当時の氏に、「こちらの先生は吹奏楽部の顧問なんですよ」と、もう1人の面接官が言った。

ようやく状況が把握出来た氏は、立ち上がり「お世話になります」と頭を下げて、面接を後にした。

その時、氏は吹奏楽の道に足を踏み入れた。

それから数年が経ち、吹奏楽部と一緒に活動していた先輩後輩は楽器をやめいまだに楽器を続けているのは、氏ひとりになった。

氏は言う。あれがなかったら、今の氏はいない。

今思えば、何事も長続きしないのに、どういうわけか、これだけは長続きしている。

そして、氏はぽつりとつぶやいた。

なんとか時間を作り、吹奏楽団はこれからも続けていきたい。

明石 健治

大阪の南の方の桶で沈んでいたのを野口さんが掘り出して、こちらに運んでこられたのがこの楽団で演奏するきっかけでした。

掘り出した際にちゃんと泥を洗っていなかったのは未だに野口さんの悔やんでいるところであらうと想像しています

パートはバスーン（時に気まぐれでトロンボーンを吹きます。）

高校2年の時に始めたのですが、ちゃんと上手くなろうとしたのはここ5～6年の事なので、経験ほどに上手く吹けないのが残念なところ。

それでも未だにあちこちの楽団から誘って頂くのはバスーン吹きの方の人徳に拠るところが大きいのだ、とあらためてバスーンの神様に感謝しています。

現在スタンダードになっている吹奏楽のオーケストレーションにおいては、バスーンが活躍するなんて事は10年に1度くらいしか無いので、美しいメロディを奏でて

楽団を引っ張る、なんて事はあきらめ、楽団の中で演奏の指標となるべく正確なテンポ、リズム、ピッチを作り、他の奏者に貢献することを目指します。

音楽図書館協会理事

新田 照子

ただいま、妊娠中につき仕事も楽器もお休み中です。

亀村さん・野口さんの次に古いメンバーです。

入団当初は250ccのバイクで山科から通っていました。

中学1年からブラスバンドでフルートを始め、高校2年の冬から団員がいなくなったホルンに変更して、今では両方吹いています。

ここでのパートは一応ホルンです。

現在、他には宇治シティーフィルハーモニーとフルートアンサンブル メヌエット

(フルートオーケストラ)に所属しています。

未知の世界を実感できる旅行にハマり、結婚前は年に2~3回行っている時期もありました。体験談が聞きたい方は直接聞いてください。

まだまだ、行きたい所とやりたい事はたくさんありますが、今はそれよりも、無事出産して、子育てしつつ仕事復帰して、楽器も吹けたらいいな~と思っています。

舘 萌

パートはフルートです。仕事は、たぶん、何かの設計をしています。

休みの日には両親が営む、カフェ&アンサンブルホール「立木音楽堂」を手伝っていますが、誰からも看板娘とは呼んでももらえません。(きっと可愛くないからです。)

小さい時から、ピアノとヴァイオリンを習っているはずです。

今は枚方フィルで澄ました顔してヴァイオリンを弾いています。

どこでどう間違ったか、高校で男子校に進学してしまい、不幸なことにN氏の後輩になってしまいました。(N氏は後輩と認めてません。)人生最大の汚点です。

フルートはいつ始めたかは覚えていません。高校の時には吹いていたと思います。

この楽団に来たのは ~ ちょと前なりゃあ覚えちゃいるが ~ (結構、歳くってます) 6年くらい前だと思います。

N氏とは、とっても仲が悪く、旋律を奏でる事が多いパートなのに、音程が全く合いません。悪いのはN氏です。ちゃんと合わせて欲しいです。

大阪市内勤務で、残業があつたりで、なかなか練習に参加できず、申し訳ないです。

音楽は大好きなので、頑張って練習参加します。

ちゃんと演奏できない時・休んだ時はしばいていいです。

(文責 野口)

土谷 ころろ

入団してもうすぐ3年?! トランペット...ん? 鳴らんペット!とも言われますが...もう17年?! 途中5年ほどは眠っていました。。

ちゃんと音が出るように精進します。

仕事は...毎日ちびっこたちと大暴れの保育士。ただしピアノは弾けません。

ライフワークでライフセーバーにもチャレンジ。夏はまっ黒。

天橋立に遊びに来てくださいね~

よろしくお願いします。

堀 恭幸

枚方市生まれの枚方育ち。商社勤務の楽器を吹いています。

パートはテナーサクソです。

高校3年から始め、途中吹かなくなった時期もありますが、楽器暦は8年になり、楽団には2年半くらい在籍しています。

休みの日には、自転車に乗って、あちこち走り回っています。

好きな音色はバリトンサクソの音色で、いつか購入しようと思ったり思わなかったクラシックに限らず、演歌やロックといった様々なジャンルの演奏が吹けるように練習しようと思っています。